



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フォーバル
コード番号 8275 URL <http://www.forval.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 將典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二

TEL 03-3498-1541

四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	36,737	15.8	1,504	25.3	1,485	27.9	738	△10.3
27年3月期第3四半期	31,729	16.7	1,201	54.3	1,161	47.2	823	26.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 699百万円 (△5.7%) 27年3月期第3四半期 741百万円 (28.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	28.94	28.92
27年3月期第3四半期	31.05	—

(注) 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成27年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	18,834	7,058	34.0	251.84
27年3月期	19,352	7,531	36.2	269.83

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 6,402百万円 27年3月期 7,012百万円

(注) 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成27年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	27.50	27.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	13.75	13.75

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年6月30日に公表いたしました「株式分割、定款の一部変更並びに配当予想の修正に関するお知らせ」とおり、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったことに伴い、平成28年3月期の予想期末配当金は株式分割後の1株当たりの予想期末配当金に修正しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年3月期の1株当たりの予想期末配当金は27円50銭であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	4.3	2,100	9.3	2,100	15.5	1,250	0.7	49.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益金額については、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成28年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、また平成27年5月に自己株式を取得したことを考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	27,732,622 株	27年3月期	27,732,622 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,308,538 株	27年3月期	1,743,738 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	25,513,119 株	27年3月期3Q	26,526,203 株

(注) 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。期末発行済株式数、期末自己株式数並びに期中平均株式数は、当該株式分割が平成27年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善し設備投資に持ち直しの兆しがみられるなど緩やかな回復基調が続きました。一方で、中国における景気の下振れリスクに加え、米国の利上げや原油価格の下落による混乱の影響で不透明感が高まっています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT関連などのサービスが拡大しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信分野）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外分野）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境分野）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育分野）」の4分野に特化することで他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

このような環境のもと当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ5,008百万円増加し、36,737百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ1,642百万円増加（前年同期比18.4%増）し、販売費及び一般管理費が人員増による人件費の増加等により前年同期に比べ1,339百万円増加（前年同期比17.4%増）したものの、営業利益は1,504百万円（前年同期比25.3%増）、経常利益は1,485百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

また、税金費用、非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は738百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

「アイコンサービス」が順調に拡大したほか、セキュリティ関連やサーバー等の販売が好調に推移した結果、売上高は12,353百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は909百万円（前年同期比47.8%増）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

光回線サービスやI S Pが順調に拡大したほか、印刷関連及び保険関連の子会社が好調に推移した結果、売上高は9,608百万円（前年同期比14.0%増）、I S P受注に伴うインセンティブの増加や保険関連の子会社の人員増の影響でセグメント利益は459百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

携帯販売台数が前年同期比11.8%増となったことで、売上高は8,349百万円（前年同期比18.7%増）、費用の抑制に努めた結果、セグメント利益は265百万円（前年同期比75.3%増）となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

太陽光発電システムやエコキュートに代表されるスマートグリッド設備機器の卸売において、特に産業用システムが増加したことにより、売上高は5,591百万円（前年同期比38.3%増）となりました。一方で販売費や人件費等の増加により、セグメント損失は86百万円（前年同期は30百万円の利益）となりました。

<その他事業グループ>

I T教育サービス事業関連の子会社が好調に推移した結果、売上高は834百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は38百万円（前年同期比34.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ518百万円減少し18,834百万円となりました。

流動資産は13,830百万円となり、前連結会計年度末比832百万円の減少となりました。これは主として受取手形及び売掛金が786百万円減少したためです。

固定資産は5,003百万円となり、前連結会計年度末比314百万円の増加となりました。これは主として投資その他の資産が242百万円増加したためです。

流動負債は9,671百万円となり、前連結会計年度末比68百万円の減少となりました。これは主として短期借入金が738百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が727百万円、未払金が44百万円減少したためです。

固定負債は2,104百万円となり、前連結会計年度末比24百万円の増加となりました。

純資産は7,058百万円となり、前連結会計年度末比473百万円の減少となりました。これは主として自己株式の取得や配当の支払いにより株主資本が416百万円減少したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、平成27年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が228,498千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,672,983	5,054,915
受取手形及び売掛金	5,869,063	5,083,050
商品及び製品	694,512	783,247
仕掛品	78,803	88,190
原材料及び貯蔵品	30,454	33,891
その他	3,383,323	2,840,042
貸倒引当金	△66,466	△53,015
流動資産合計	14,662,674	13,830,322
固定資産		
有形固定資産	528,021	536,425
無形固定資産		
のれん	308,089	215,304
その他	327,702	484,136
無形固定資産合計	635,792	699,441
投資その他の資産		
投資有価証券	1,907,780	1,744,609
その他	1,936,173	2,343,427
貸倒引当金	△317,951	△319,919
投資その他の資産合計	3,526,002	3,768,118
固定資産合計	4,689,817	5,003,984
資産合計	19,352,491	18,834,306
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,282,579	4,554,904
短期借入金	190,746	929,396
未払金	1,804,337	1,759,919
未払法人税等	278,239	340,476
賞与引当金	430,149	311,784
役員賞与引当金	135,750	116,405
返品調整引当金	18,824	17,694
その他	1,599,216	1,640,832
流動負債合計	9,739,844	9,671,414
固定負債		
長期借入金	67,648	51,384
退職給付に係る負債	1,915,199	1,977,835
持分法適用に伴う負債	36,646	30,971
その他	61,175	44,488
固定負債合計	2,080,669	2,104,679
負債合計	11,820,513	11,776,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,259,981
利益剰余金	153,059	534,101
自己株式	△681,193	△1,250,459
株主資本合計	6,110,639	5,693,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	903,705	717,468
為替換算調整勘定	2,701	56
退職給付に係る調整累計額	△4,494	△8,762
その他の包括利益累計額合計	901,912	708,762
新株予約権	2,130	47,203
非支配株主持分	517,294	608,328
純資産合計	7,531,977	7,058,212
負債純資産合計	19,352,491	18,834,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	31,729,067	36,737,206
売上原価	22,817,027	26,182,177
売上総利益	8,912,040	10,555,028
販売費及び一般管理費	7,711,024	9,050,670
営業利益	1,201,015	1,504,358
営業外収益		
受取利息	4,525	5,412
受取配当金	23,518	14,687
違約金収入	20,588	51,472
その他	87,477	30,340
営業外収益合計	136,109	101,911
営業外費用		
支払利息	9,225	8,681
持分法による投資損失	163,507	87,028
その他	3,252	25,457
営業外費用合計	175,985	121,167
経常利益	1,161,140	1,485,102
特別利益		
固定資産売却益	-	213
投資有価証券売却益	180,008	-
持分変動利益	26,322	-
その他	3,826	-
特別利益合計	210,157	213
特別損失		
固定資産除売却損	162,969	2,483
減損損失	4,016	-
その他	17,969	-
特別損失合計	184,956	2,483
税金等調整前四半期純利益	1,186,342	1,482,832
法人税、住民税及び事業税	360,737	558,894
法人税等調整額	△58,973	31,391
法人税等合計	301,764	590,285
四半期純利益	884,577	892,547
非支配株主に帰属する四半期純利益	60,984	154,157
親会社株主に帰属する四半期純利益	823,593	738,390

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	884,577	892,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△142,357	△186,237
退職給付に係る調整額	△2,649	△4,268
持分法適用会社に対する持分相当額	1,946	△2,645
その他の包括利益合計	△143,060	△193,150
四半期包括利益	741,517	699,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	680,532	545,239
非支配株主に係る四半期包括利益	60,984	154,157

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取による取得も含めて自己株式が569,265千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,250,459千円となっております。

また、当社は、第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。これに伴う影響は、(会計方針の変更)に記載のとおりであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,441,435	8,430,583	7,035,759	4,044,274	30,952,051	777,015	31,729,067
セグメント間の内部 売上高又は振替高	378,083	537,741	42,727	—	958,553	5,474	964,027
計	11,819,518	8,968,325	7,078,486	4,044,274	31,910,605	782,490	32,693,095
セグメント利益	615,610	457,697	151,385	30,865	1,255,560	28,393	1,283,953

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,255,560
「その他」の区分の利益	28,393
セグメント間取引消去	△1,576
のれん償却額	△81,361
四半期連結損益計算書の営業利益	1,201,015

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産(電話加入権)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては218千円であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,798千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,353,114	9,608,167	8,349,993	5,591,251	35,902,527	834,679	36,737,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	353,129	496,405	13,054	-	862,589	5,400	867,989
計	12,706,244	10,104,573	8,363,047	5,591,251	36,765,116	840,079	37,605,195
セグメント利益又は損 失(△)	909,704	459,477	265,438	△86,230	1,548,389	38,311	1,586,700

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,548,389
「その他」の区分の利益	38,311
セグメント間取引消去	4,657
のれん償却額	△86,999
四半期連結損益計算書の営業利益	1,504,358

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。